

10月22日 午後



10月22日 午前



# 山田宏の タックル ニュース

令和2年号

1月1日

令和2年

発行  
山田宏よい国後援会  
機関紙



## 2600年以上の伝統を維持する知恵を 「護る会」が安定的な皇位継承へ提言 参議院議員 山田宏

昨年10月22日の「即位礼正殿の儀」の朝は嵐で、参列のため皇居に向かうバスで青山繁晴議員と「雨降って地固まればいいですね」と話したのです。しかし13時からの式典直前になると、雨が小降りになり風も弱まり、隣席の青山さんと「ひよっとして晴れたりして」と半信半疑でした。

ところが厳かに式典が始まると、雨が止み、みるみる日が差し明るくなってきたのです。本当に不思議な体験でした。その時間には皇居の上に大きな美しい虹が弧を描いていたということも知りました。また11月には出雲大社の空に、大きな鳳凰の形をした雲が撮影されています(興味のある方はネットでご覧ください)。

令和の御代となり、皇室と国民が一体となって歩んできたわが国の悠久の歴史が、いつまでも平和と繁栄の中で紡がれてほしいと心から願わずにいられません。

### 庚子(かのえね)は、更新進化・増やす年

昨年の「己亥(つちのこ)」の年は、「乱れを正す年」でした。そして今年の「庚子(かのえね)」の「庚」とは「更」であり、前年までやってきたことを継続しながら、一歩一歩更新し、変更し、進化させていく年です。

また「子」は「種子」で、「増える」ことを意味し、今年には昨年正した方向を継続しつつ、進化させ、様々のものを増やしていく年となります。

### 「日本の尊厳と国益を護る会(護る会)」が発足

昨年6月、青山繁晴参議院議員をはじめ志を同じくする自民党国会議員47名で「日本の尊厳と国益を護る会(護る会)」が発足し、青山氏が代表幹事、私が幹事長に就任しました。国の尊厳と国益

をしつかり護ることを通してわが国の乱れを直し、真に平和と繁栄の日本を創り上げていきたいとの決意です。  
「護る会」は、これまでの政治が避けてきた「国家としての日本にとつての重要な課題に真正面から取り組む方針であり、当面「皇位継承の安定」、「外国人の土地取得制限」、そして「スパイ防止法の制定」を重要課題としました。そして第一弾として、これまで検討してきた結果をまとめ、大嘗祭の終了後の11月19日に安倍首相に対し「皇位継承の安定への提言」を手交しました。



11月19日

### 危機は常にあったが、「男系(父系)」は変わらず維持された

今上陛下のあとの皇位継承順位は、秋篠宮皇嗣殿下、悠仁殿下、常陸宮殿下の順で、次世代となると悠仁殿下お一人。三宮家も女王殿下のみであり、皇室典範の定める皇位継承者となる「男系男子」が途絶えかねないという皇位継承の危機にあります。

その中で、国民の中には「女性」天皇を求める声があります。確かに126代の歴代天皇の中には、推古天皇や持統天皇など8人の「女性」天皇がおられました。どの方も未亡人が独身を貫かれ、天皇と

### 首相「啓発活動は必要」 自民有志 天皇男系継承で提言

安倍晋三首相は19日、自民党の保守系有志議員による「日本の尊厳と国益を護る会」(代表幹事・青山繁晴参議院議員)のメンバーと官邸で会い、男系の皇位継承を堅持するための具体策を盛り込んだ提言書を受け取った。首相は面会で、女性天皇と女系天皇の違いに関する国民の理解が必要との認識を示した。  
同日山田宏参議院議員によると、首相は「女性天皇、女系天皇の違いについて国民に十分な理解が進んでいない」と指摘し、「この部分について啓発活動は必要だ」と述べたという。  
護る会の提言は、女系天皇につながる「女性宮家創設」に否定的で、皇室典範改正や特例法制定によって旧宮家の男子が皇族に復帰できるようにすることが柱だ。  
首相は「男系の継承が古来例外なく継承されてきたことの重要性をしっかりと踏まえながら、慎重に検討していきたい」と語った。

先人たちは「男系(父系)」継承の危機のたびに、伝統を守り抜く知恵を傾けました。25代武烈天皇の時には、5代遡り5代下り10親等離れた26代継体天皇が即位しました。このようなことが何度かあり、鎌倉期には天皇の御子たちに宮家を創設させ、天皇家に男系(父系)の皇位継承者が途絶えた時には、宮家の男子が継承するという新たな知恵を生み出しました。宮家は、いわば皇位継承者のリザーブとして創設されました。

今日の危機は、昭和22年にGHQが11宮家を廃止したことに原因があります。70数年前の占領軍の施策で、2600年以上にわたって先人たちが知恵を絞って受け継がれてきた皇室の伝統を崩してはなりません。「護る会」の提言では、現在の皇位継承順位には手をつけず、旧皇族の男子が現宮家のご養子か婿養子として皇族復帰していただく案を提案しています。

本年も皆様にとつて良い年になりますようお願い申し上げます。

護る会の提言は



# 「国賓・習氏」絶えぬ反発

## 日中政府は連携確認



海外からの賓客の接遇は、国賓(公賓)と式実務訪問(実務訪問)の4つのランクに分けられ、国賓は最上位の客人を指す。元外務省(外務省)で、天皇、皇后両陛下が歓迎行事や宮中晩餐(ばんさん)会を催し、会見という懇話の場も持たれる。滞在費は原則日本側が負担する。誰を国賓として招くかは政府が閣議で決める。習氏が国賓として来日すれば、令和になってからはトランプ米大統領に続き2人目となる。

### 尖閣・香港改善なく 自民内「誤解与える」

安倍晋三首相と中国の王毅国務委員兼外相との25日の会談では、習近平国家主席の来日に向け、連携していくことを確認した。ただ、自民党からは反発の声も絶えない。尖閣諸島(沖繩県石垣市)周辺への領海侵入や香港市民への抑圧など、習氏が動かし止めたことがないからだ。(石橋志) 3面に記事

## 自民内「誤解与える」

自民党の佐藤正久元外務副大臣は14日の参院外交防衛委員会、茂木敏充外相(首相)とする政府の「国賓」の保持を志す意向を説明した。自民党の保守系有志グループ「日本の縁と国益を守る会」も13日、「日中関係は正常な軌道にある。9月に北海道大の教授が反スパイ法違反などの容疑で中国当局に拘束された。解放されたが、今も復讐の日本人が不当に拘束されている」として、習氏を国賓として迎えることを反対し、習氏の来日を拒否するべきだと主張している。

今年4月に中国の習近平国家主席が「国賓」として来日します。私は昨年11月7日の参議院外交防衛委員会、茂木外務大臣に対して「国賓」招待に疑問を投げかけ、日中間の懸案事項や世界が危惧する中国の人権弾圧状況が全く改善されない中で「国賓」招待に反対する質疑を行いました。

まず尖閣諸島周辺では、毎日のように中国公船が領海侵犯の挑発を繰り返しており、2013年以来改善されるどころか酷くなっています。また「スパイ罪」などの容疑で拘束され服役させられている邦人が10名おり、どの行為がどの法律に違反したか明らかにされないまま不当な拘束が続いています。

またチベット、ウイグル、南モンゴルでは、中国政府による民族や宗教の弾圧が続けられ、香港では警察や軍隊による民主主義運動の鎮圧がエスカレートしています。

## 習近平主席「国賓」来日に反対

### 「日中関係は『正常な関係』に戻ってはいない」

トシ、全世界から非難の声が上がっています。

こんな状況の中、中国の国家主席を天皇陛下の招待である「国賓」という最高待遇で迎えてよいのでしょうか。1989年に一般民衆が軍によって多数虐殺された天安門事件で、世界中から非難を浴び孤立していた中国を救ったのは、1992年の天皇陛下の訪中で、世界から日本の「抜け駆け」と批判を受けました。もし習近平主席の「国賓」招待となれば、また「自分さえよければいい」日本と批判されることは確かだと思っています。

私の質疑後、「国賓」来日反対の声は日増しに大きくなっています。



11月7日参議院外交防衛委員会での質疑は→

▲令和元年11月26日(水)産経新聞  
▲令和元年12月13日(金)読売新聞 朝刊

## 習氏国賓来日 慎重論相次ぐ

12日の自民党総務会で、来春に予定される中国の習近平国家主席の国賓来日について、政府に慎重な対応を求める発言が相次いだ。

総務会で、衛藤征士郎・元衆院副議長は、中国公船による尖閣諸島周辺での領海侵入に懸念を述べ、「国賓として迎える環境を整えなければならぬ」と注文をつけた。これに対し、二階幹事長は政府に説明を求めると示した。

習氏の国賓来日をめぐっては、自民党の保守派議員でつくる「日本の尊厳と国益を守る会」が政府に反対の申し入れを行っている。

山田宏元防衛政務官も7日の参院外交防衛委員会で「日中関係は正常な軌道に戻っていない」と述べた。

## 「生涯を通じた歯科健診」こそ健康長寿のもと

### 「国民皆歯科健診を実現する議員の会」がスタート

12月10日に、古屋圭司元国務大臣を会長に「国民皆歯科健診を実現する議員の会」(山田宏事務局 長がスタートし、糖尿病内科医の西田互先生により、医師の視点で歯科が疾病予防に重要な役割を果たしていることが明らかになりました。

定期的な歯科健診に行く人と行かない人にかかる医療費を比べると、歯科健診に行く人の方が年間医療費は少ないという結果が、数々の医療機関や健康にかかりにくいのです。

最近ではメディア等でも、歯周病と糖尿病や血管障害やアルツハイマー病などの生活習慣病との関連も取り上げられ、「口の健康が体全体の健康に直結すること」が国民に理解されてきました。

そこで、人生100年時代を見据えて健康で長寿な社会を築き、その結果急増する医療費の伸びから国民皆保険制度を守るため、まず歯科健診の義務が高校で終わっている現制度を改め、「生涯を通じた歯科健診」の実現へ法改正をめざし、自民党の有志国会議員で発足しました。



### 自由民主党に入党ください!

山田が支部長を務める「自由民主党東京都参議院比例区第二十二支部」を通じ、党员になってお支ください。  
\*満18歳以上、日本国籍を有する方が対象です。  
\*党費 年額4,000円(家族党员は2,000円)

### 山田宏に国政報告の時間を!

グループの会合など、ぜひ山田宏にお声がけください。国政を身近に感じられるようお話をさせていただき、皆様の疑問にお答えいたします。ぜひ山田宏の話をお聞きください。そして、先生方の現場の声を伝えてください。少人数の会合でも歓迎です。先生方とお会いする機会をいただきたく願っています。

山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッターでご紹介しています

山田宏公式サイト: [www.yamadahiroshi.com](http://www.yamadahiroshi.com)  
山田宏公式Facebookページ: <https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/>  
山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo  
⇒ぜひチェックしてください!

## お問い合わせ先

**山田宏 国会事務所**  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館1205号室  
Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205

**山田宏 よい国後援会事務所**  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-1  
神戸田中ビル2階  
Tel.03-6256-9062 Fax.03-6256-9063

メールでのお問い合わせ  
[info@yamadahiroshi.com](mailto:info@yamadahiroshi.com)

## 『山田宏よい国後援会』にお入りください!

「世界に誇れる日本」を創るため、日々活動しております。そのためには、皆様のご支援が必要です。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。



\*後援会員には会員限定的「スリ通信」を年4回お送り致します。

以上のご連絡は、山田宏事務所まで、お気軽にお問い合わせください!